

産直365

2024年
5月4回号
(A週)
小満

特集

「エコ」への挑戦は続く!
チャレンジ

エコ・トマト
エコ・青森はれわたたり
エコ・きゅうり

2024年産
予約登録米
受付中!

エコは
栽培の
がんばりの証



episode 1

栃木元気会
(栃木県)

栃木県南部の上三川町を中心とした生産者の会。肥沃な土壌を生かしながら、7名の生産者ができる限り農業に頼らずにトマト、ミニトマト、にらなどを栽培しています。トマトとミニトマトは、春から初夏までの間「エコ・チャレンジ」基準でお届けしています。

取材した人

金子 智信 さん

1980年生まれ。姉ふたりの末っ子長男で、農業大学卒業後に実家に戻り就農。栃木元気会の生産者との縁から、会に所属しパルシステムに出荷するように。3人の子の父。

「エコ」ができるのは、旬だからこそ

いちご王国として名高い栃木県。じつはいちご以外にも、ハウスを使った施設栽培全般が盛んです。「栃木元気会」の生産者・金子智信さんも、3代続く果菜農家。

「祖父はきゅうり、父は大玉と中玉トマト。僕の代で大玉一本に切り替えました」と話す金子さんは、2014年に現在の「エコ・チャレンジ」基準が施行されて以来、基準に沿ったトマト作りに挑戦し続けてきました。もともと父親の代でも、土壌くん蒸剤は不使用、化学肥料や化学合成農薬にもなるべく頼らず栽培していたため、比較的スムーズに対応できたそうです。

といっても、やはり化学合成農薬を抑えて栽培することが簡単なわけではありません。農薬には大きく分けて害虫対策の殺虫剤と、病気対策の殺菌剤がありますが、どちらを減らすにしても共通するのが「予防」だそうです。

「虫に関しては、『入れない』。苗を植える際に持ち込まなければ増えることはないの、まずはそこですね。病気は『出さない』。トマトの病気はカビ系なので、気温と湿度が高いときはとくに気を付けて、樹の健康状態を見るようにしています」

金子さんはほぼ通年でトマトを栽培していますが、エコ基準は春夏収穫のものだけ。トマトにとって快適な環境が整う時季なので、病気や害虫が比較的発生しにくく、栽培がしやすい期間なのだそうです。

「化学合成農薬の基準って、かける回数ではなく成分カウント

なんです。17回という多く見えるかもしれませんが、実際には一度に2種類を使うので、けっこう厳しい。有機栽培でも使える資材を取り入れながら、予防に努めています」

味だけではない評価が、心の支え

『エコ・トマト』のハウスを案内してもらくと、青々とした葉にかくれるように、赤く色付いた実がついています。金子さんは「うちは実の近くの葉をあえて残しているの、こういう感じなんです」と説明します。

「一般的にはどんどん葉を摘んで、実に日を当てて早く色を付けて早く収穫するのが定石。僕は量より味を優先したいので、収穫まで時間がかかっても、葉に光合成させてうまみをのせるようにしています。『葉とらずりんご』と同じ理屈ですね」

一方でどれだけ工夫しても、日々、1個1個、実の味は異なるもの。「味の追求にはキリがないので、突き詰めすぎるとメンタルをやられます」と、その難しさも語ります。

「だからこそ、『エコ・トマト』を選んでもらえるってうれしいんです。『エコ』という「栽培のがんばり」を認めてもらえてることだから。もちろん味も大事だし、エコで作ればおのずと味はよくなりますが、味とは別軸で自分を納得させられるものがあることは、ありがたいし心の支えだなと思います」

(写真/佐々木孝憲、文/西谷真実)

エコ・チャレンジとは…

化学合成農薬と化学肥料を、各都道府県の慣行栽培基準の1/2以下に削減。さらにパルシステムが定めた「削減目標農薬」を原則不使用とし、青果の場合は除草剤と土壌くん蒸剤も不使用です。

●化学合成農薬の使用回数
(栃木県の促成(冬春どりの)トマトの場合)



※化学合成農薬の有効成分の、のべ回数をカウント



コトコト 295
きなり 234
きなりセレクト 341894
エコ・トマト

500g 338円(税込365円)

栽培基準を話し合い農薬使用を抑えた栽培にチャレンジしています。そのまま生で食べる以外に、スープやシチューなどにも。

特別価格

元気会(栃木)・沃土(埼玉)・長有研(長崎)・ながさき南部(長崎)



episode 3

村悟空(千葉県)

千葉県旭市で環境保全型農業に取り組む産地。ハウス栽培のきゅうりやミニトマトのほか、露地栽培の大根や人参など幅広い野菜を手掛けています。青年部を中心に、組合員との交流も積極的に実施しています。

欲しいの聲に
こたえ続ける!

取材した人

長谷川 昌紀さん

1982年生まれ。企業勤めののち、10年ほど前に家業に入る。現在は両親と外国人実習生5人とともに、きゅうり、トマト、レタスを栽培。

高いハードルを乗り越えて

江戸時代に水田を作るため「^{つばきのうみ}椿海」という湖を干拓してできた街、千葉県旭市。車を走らせると、田んぼだけでなく大きなハウスも多く立ち並んでいることに気がきます。

「このあたりは水はけのよい砂地なので、きゅうりを作るのに適していて、昔からハウス栽培が盛んなんです」と教えてくれたのは、「村悟空」の生産者・長谷川昌紀さん。長谷川さんは5~7月に収穫するきゅうりを、「エコ・チャレンジ」栽培で手掛けています。「肥料はもともと有機質主体なので、普通のきゅうりとあまり変わりません。大変なのはやっぱり(化学合成)農薬の削減です。病気を出さないように、害虫が入らないように、慣行栽培よりも気をつけています」

きゅうりは一定の量を収穫するには水分量が必要な野菜。ただし水分量を上げすぎると病気が発生しやすくなるうえ、発生した病気を害虫が媒介し広めてしまうリスクもあるそうです。「慣行栽培基準の1/2以下」というのは、私たちが思っているよりもずっと高いハードルなのだ、改めて実感します。

案内されたハウスには、害虫対策として今年から取り入れたという赤色LEDライトが吊るされていました。きゅうりの害虫「アザミウマ」が植物の緑色を識別できなくなる効果があるため、成虫が葉に定着しづらくなるうえ、繁殖数を抑えることにもつながるそうです。

「今季はまだ試験的な導入ですが、効果があればもっと数を増やしたり、(慣行栽培の)越冬きゅうりのハウスでも設置したりしようかなと思っています。こういう情報は、生産者仲間や地域の資材屋さんから仕入れることが多いですね」

リスクは高い、それでも上をめざして

さらにエコ栽培で課題となるのが、「土壌くん蒸剤不使用」という点。土壌くん蒸剤は、土中にすむ病原菌や害虫対策に用いられる土壌消毒用の資材です。土壌くん蒸剤を使わない場

合、太陽熱やアルコールを利用して殺菌するのが一般的ですが、地温を上げなければ効果がないので8月など真夏に土の準備をする必要があります。

一方で、きゅうりを一番育てやすい季節——つまりエコ栽培に向いているのは、春から夏。苗を定植するのは、3月下旬です。「普通に予定を組むと土の準備が冬場なので、太陽熱は使えません。とはいえ夏に準備をして3月まで空けるわけにもいかない。そのため自分の場合は、夏に土の準備をしたら一度リーフレタスを作り、そのあとにきゅうりを植えるサイクルにしています」

こうした難しさやリスクの高さから、パルシステムの数ある産直産地でも、きゅうりのエコ栽培に取り組んでいる生産者はごくわずか。村悟空のなかでも、長谷川さんを含む2名だけがエコ栽培に挑戦しています。

「部会として、“村悟空のきゅうり”、もっとやれるんじゃないか、上をめざせるんじゃないかと。そんな想いでやっています」

照れ笑いを浮かべながら、エコ栽培への志を語る長谷川さん。ゆくゆくは長期にわたって収穫する越冬栽培でも、エコ基準で出荷ができるようになればと試行錯誤を重ねているそうです。

「どうしても『エコ・きゅうり』がカタログに載る期間って短いです。でも別の季節でも欲しいという声はある。その声がある限り、挑戦は続けたいと思っています」

じつは長谷川さん、『エコ・きゅうり』だからこその楽しみもあるそうです。

「村悟空では普通のきゅうりには『産地(生産者)カード』を入れないのですが、エコだけはカードを入れているんです。ぜひ、感想を書いて戻してもらえると、励みになります！」

(写真/深澤慎平、文/西谷真実)

害虫対策として取り入れたLEDライト。侵入を防ぐほか、繁殖の抑制効果も期待できます。



収穫用のはさみは使いまわさず列ごとに分け、万が一病気が発生した際にまん延しないよう対策。



「環境制御システム」によって、スマートフォンでいつでもハウスの環境を確認できます。



商品ポイント +5
たまつくり(茨城)・野菜くらぶ(群馬)・沃土(埼玉)・村悟空(千葉)・サンド旭(千葉)

コトコト 303 きなり 241 きなりセレクト 341924

エコ・きゅうり

2本 148円(税込160円)

農業に頼らない栽培に努めています。サラダや漬物、炒め物など用途は多様。